

食料を
守れ

肥料・飼料への直接支援を！



質問動画はこちら▶

2022年11月28日、衆院予算委員会

ロシアのウクライナ侵略により、肥料・飼料が激しく高騰。特に酪農・畜産経営は極限状態です。今すぐ直接支援をと要求しましたが、岸田首相は拒否しました。輸入だのみの政治を改め、安全でおいしい国内の食料生産を守る政治へ。抜本的転換を図ります。

衆議院議員 田村貴昭

1 今すぐ直接支援で赤字の補填を

▶ 飼料・肥料の高騰前の価格と現在の価格との差額を全額公費で補填する緊急支援を

2 インボイス導入は中止せよ

▶ 農家、クリエイター、個人事業主を窮地に陥れるインボイス制度は導入するべきではない

3 ミニマムアクセス輸入を止めよ

▶ 米や乳製品の在庫が過剰にもかかわらず、国は外国から大量に輸入。直ちに停止するべき

日本共産党

衆議院議員 田村貴昭 国会報告

2022年冬号（農業分野版）

発行：田村貴昭事務所

〒100-8982

東京都千代田区永田町2-1-2衆議院第2議員会館712

TEL：03-3508-7475

▼ホームページ

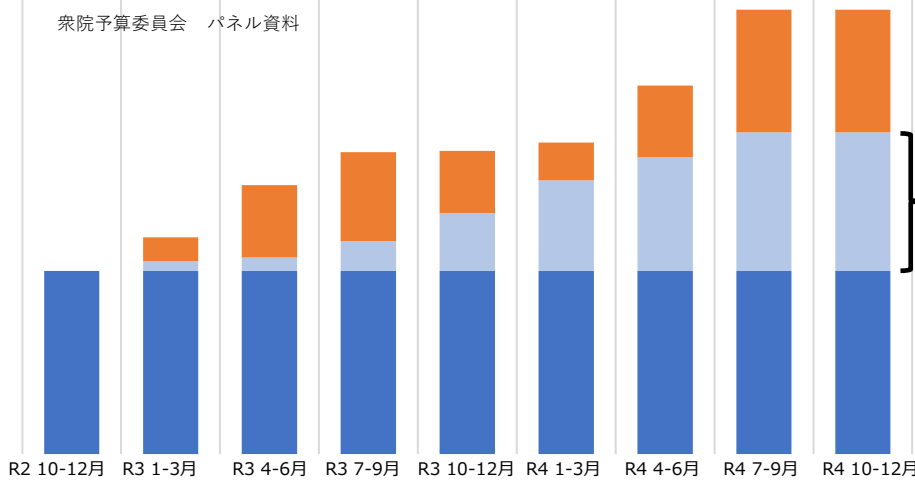


畜産の灯を消すな



配合飼料価格の推移と補てん金額

衆院予算委員会 パネル資料



エサの価格は倍以上に高騰。政府の支援制度による補てん（オレンジ部分）では、とても足りません。

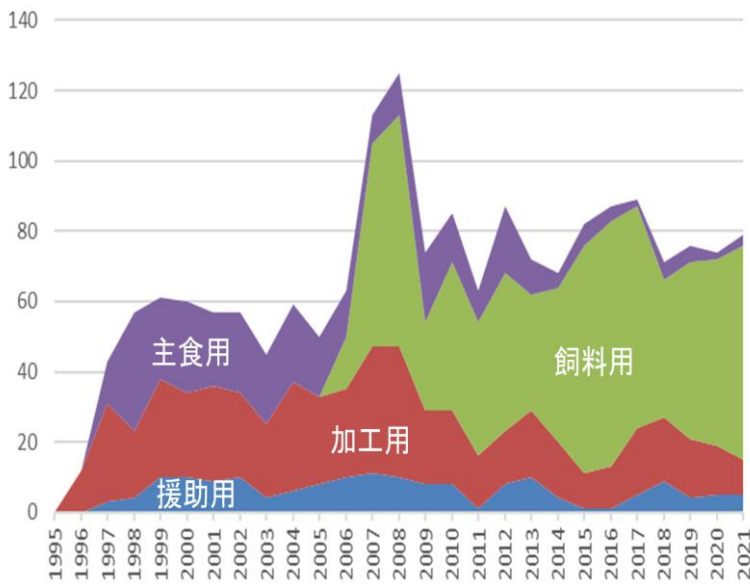
特に酪農は、牛乳の価格に転嫁できず、しばればしばるほど赤字となり、次々と離農・廃業しています。

このままでは、国産の新鮮な牛乳を供給できなくなってしまいます。

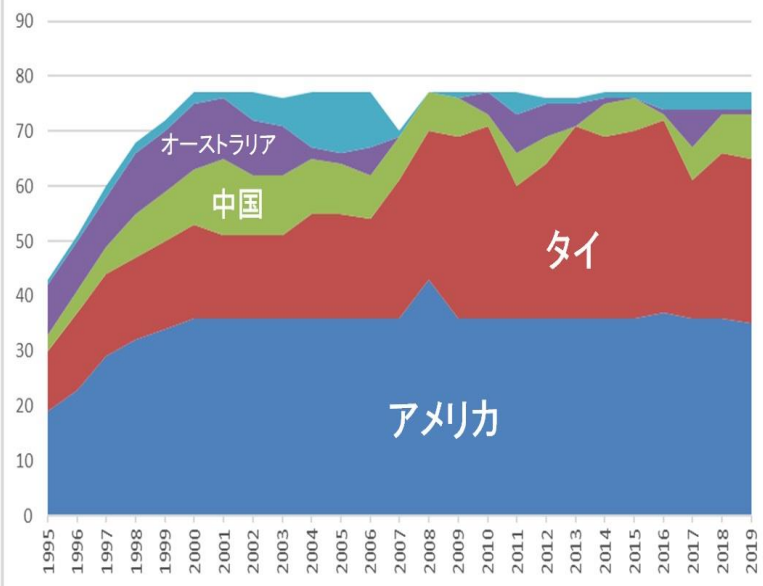
余っているのに大量輸入、おかしくない？

衆院予算委員会 パネル資料

ミニマムアクセス米 仕向け先



ミニマムアクセス米 国別輸入数量



コロナの影響で米の需要が減り、価格が大きく下がっています。ところが政府は、国家貿易で大量に輸入。アメリカからは、義務でもないのに定量輸入です（右のグラフ）。しかし今や価格が高いので買い手がおらず、ほとんどが家畜のエサに（左のグラフ）。何百億円もの赤字を垂れ流してます。乳製品でも同じことが起きています。

畜産危機 対策を大臣に申し入れ

- ▶ 飼料や資材の高騰分の公費による全額補てん
- ▶ 金融機関へ借り入れ返済の繰り延べを強く指導
- ▶ 国家貿易によるカレント・アクセス輸入の中止
- ▶ 政府が需給調整に責任を持つこと

12月13日、農水大臣室▶

